

純正設置・取扱説明書

## CLEARPOINT® V

### カートリッジ付き活性炭フィルタ

- >S055
- >M010X
- >M018

## ■ 目次

<b>1. 本書についての注意事項</b> .....	<b>4</b>
1.1 連絡先.....	4
1.2 設置・取扱説明書に関する情報.....	4
1.3 関連ドキュメント.....	5
<b>2. 安全性</b> .....	<b>6</b>
2.1 使用.....	6
2.1.1 使用用途.....	6
2.1.2 予見可能な誤用.....	7
2.2 運用者の責任.....	7
2.3 対象グループと人員.....	8
2.4 使用される記号の説明.....	9
2.5 安全に関する注意事項および警告マーク.....	10
2.5.1 基本的な安全上の注意事項.....	10
2.5.2 安全な運転.....	10
2.5.3 加圧された液体の急速な流出.....	11
2.5.4 輸送と保管.....	11
2.5.5 設置.....	12
2.5.6 メンテナンス.....	12
2.5.7 有害物質の取扱い.....	13
2.5.8 スペアパーツ、アクセサリまたは素材の使用.....	13
2.6 警告マーク.....	14
<b>3. 製品情報</b> .....	<b>15</b>
3.1 製品の説明.....	15
3.2 製品概要.....	16
3.3 製品の識別.....	17
3.4 機能説明.....	19
3.5 製品名称.....	20
3.5.1 カートリッジ交換用メンテナンスラベル.....	20
3.5.2 銘板.....	21
3.5.3 納入内容.....	22
<b>4. 技術データ</b> .....	<b>23</b>
4.1 稼働パラメータ.....	23
4.2 材質.....	24
4.3 寸法.....	25
4.4 設置条件.....	26
<b>5. 輸送と保管</b> .....	<b>27</b>
5.1 警告マーク.....	27
5.2 輸送.....	27
5.3 保管.....	27


<b>6. 取り付け</b> .....	<b>28</b>
6.1 警告マーク .....	28
6.2 準備作業 .....	29
6.3 フィルタの位置合わせ .....	30
6.4 取り付け作業 .....	31
6.5 アクセサリの取り付け .....	31
6.6 仕上げ作業 .....	31
<b>7. 試運転</b> .....	<b>32</b>
7.1 警告マーク .....	32
7.2 試運転作業 .....	32
<b>8. メンテナンス</b> .....	<b>33</b>
8.1 警告マーク .....	33
8.2 保守スケジュール .....	33
8.3 保守作業 .....	34
8.3.1 清掃 .....	34
8.3.1.1 警告マーク .....	34
8.3.1.2 清掃作業 .....	34
8.4 カートリッジの交換 .....	35
8.4.1 目視検査 .....	39
<b>9. 運転停止措置</b> .....	<b>40</b>
9.1 警告マーク .....	40
9.2 運転停止措置の手順 .....	40
<b>10. 取り外し</b> .....	<b>41</b>
10.1 警告マーク .....	41
10.2 取り外し作業 .....	41
<b>11. 廃棄処分</b> .....	<b>43</b>
11.1 警告マーク .....	43
11.2 運転資材および補助資材の廃棄処分 .....	43
11.3 コンポーネントの廃棄処分 .....	43
<b>12. 交換部品およびアクセサリ</b> .....	<b>44</b>
12.1 交換部品 .....	44
12.2 アクセサリ .....	45
<b>13. 解決策</b> .....	<b>47</b>
<b>14. 添付書類</b> .....	<b>48</b>
14.1 製造者宣言書 .....	48
<b>15. メモ</b> .....	<b>50</b>

# 1. 本書についての注意事項


本書では、製品およびアクセサリの使用に必要な全ての手順が説明されています。

## 1.1 連絡先

メーカー	サービスおよび工具担当
BEKO TECHNOLOGIES GmbH  Im Taubental 7   41468 Neuss 電話：+ 49 2131 988 - 1000 info@beko-technologies.com www.beko-technologies.com	BEKO TECHNOLOGIES GmbH  Im Taubental 7   41468 Neuss 電話：+ 49 2131 988 - 1000 service-eu@beko-technologies.com www.beko-technologies.com

情報	国別メーカーの代理店
	国別のメーカー代理店へのご連絡は、裏面にある住所表示をご参照いただくか、メーカーのウェブサイトにある問い合わせフォームから行うことができます。


## 1.2 設置・取扱説明書に関する情報

情報	著作権
	テキスト、画像、写真、図面、回路図、その他の表現方法による設置・取扱説明書の内容は、メーカーの著作権として保護されています。この文書の譲渡ならびに複製、その内容の使用および伝達は、明示的に許可されている場合を除き、禁止されています。

公開日	改訂	バージョン	変更理由	変更の範囲
2020年10月22日	01	00	技術上および編集上の変更	変更
2025年5月20日	02	00	技術上および編集上の変更	変更

設置・取扱説明書（以下、説明書）は、常に本製品の近くにいつでも参照できる状態で保管してください。

製品を売却または譲渡する際は説明書も共に渡す必要があります。

注記	説明書の内容に留意してください
	この説明書は製品を安全に運転するための基本情報が網羅しており、如何なる操作を行う場合でも事前に通読しておく必要があります。本書を読まずに使用した場合、人的および物的損害、ならびに機能故障および運転トラブルの危険が生じるおそれがあります。

### 1.3 関連ドキュメント

この説明書では**CLEARPOINT® V**カートリッジ付き活性炭フィルタの設置および使用に必要な全ての手順について説明します。

アクセサリの設置および設定に関する詳細情報は、次の設置・取扱説明書に記載されています：

- **CLEARPOINT®** オイルテスト表示器

## 2. 安全性

### 2.1 使用

#### 2.1.1 使用用途

**CLEARPOINT® V** カートリッジ付き活性炭フィルタ（以下、「フィルタ」または「製品」とも表記）はオイルミスト吸着と圧縮ガスが印加されるシステムからの臭気除去に使用します。

この説明書に記載されていない使用方法は不適切と見なされ、人や環境の安全性を危険にさらす可能性があります。

適切に使用するには以下の点に注意してください：

- 説明書をお読みになり、よく従ってください。
- 本製品およびアクセサリは、「技術データ」の章に記載されている稼働パラメータおよび合意された納入条件の範囲内でのみご使用ください。
- 製品およびアクセサリは腐食性、毒性、可燃性、酸化性、無機成分のない媒体でのみご使用してください。疑わしい場合は分析を行ってください。
- 本製品とアクセサリは、毒性および腐食性の化学物質やガスのない領域でのみご使用ください。
- 本製品およびアクセサリは、適切な接続、パイプ径および取り付けスペースを備えた配管システムに関する「技術データ」の章に記載されている稼働パラメータの範囲内でのみご使用ください。
- 本製品およびアクセサリは、爆発の危険性がある領域の外でのみご使用ください。
- 製品とアクセサリは直射日光や熱源の影響を直接受ける領域や凍結する危険性のない領域で使用してください。
- 本製品およびアクセサリは、説明書に記載されており推奨されている、メーカーの製品およびコンポーネントとのみ併用してください。
- 所定のメンテナンススケジュールをお守りください。

運用者は本製品とアクセサリを使用する前に、適切に使用するための全ての条件と前提条件を満たすよう調節を行ってください。

本製品とアクセサリは商工業区画での定置運用でのみご使用ください。記載されている全ての取り付け、設置、運転、メンテナンス、取り外しおよび廃棄の作業は、有資格の専門スタッフのみが実施可能です。

## 2.1.2 予見可能な誤用

製品またはアクセサリが「使用用途」の章に記載のものとは異なる方法で使用される場合は、予見可能な誤用とみなされます。予見可能な誤用には、メーカーまたはサプライヤーが意図していない方法での本製品またはアクセサリの使用が含まれますが、それが予見可能な人員の行為に起因する可能性もあります。

予見可能な誤用には、以下のケースが含まれます：

- あらゆる種類の改造、特に構造およびプロセス技術関連の変更
- 既存の、または推奨される安全設備の無効化または不使用。

このリストはすべてを網羅するものではありません。すべての誤用の可能性があらかじめ予測できるわけではないからです。運用者がここに記載されていない製品やアクセサリの誤用を認識している場合は、メーカーに直ちに通知する必要があります。


## 2.2 運用者の責任

事故、障害、および環境への悪影響を避けるために、責任を負う運用者は、以下の点について確認する必要があります：

- 操作開始前に当説明書が本製品に属するものかどうか点検。
- 本製品とアクセサリが意図したとおりに使用、保守、および整備されている。
- 本製品とアクセサリが推奨されている機能性の良い安全装置とのみ併用されている。
- 全ての取り付け作業、設置作業およびメンテナンス作業は、有資格の専門スタッフのみが行っている。
- 作業員に必要な個人用保護具が提供され、使用されている。
- 適切な技術的安全措置により、許容される稼働パラメータが遵守されている。
- 本製品およびアクセサリに貼付されている全ての安全標識と銘板が、読みやすい状態に保たれている。損傷した標識や判読しにくい標識は直ちに交換してください。

## 2.3 対象グループと人員

この説明書は、本製品またはアクセサリで作業を行う以下の作業員を対象としています。

情報	作業員に対する要件
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本製品またはアクセサリで作業を行うことができるのは、成人年齢に達した作業員のみです。</li> <li>• 作業員が薬物、医薬品、アルコールまたはその他の意識に悪影響を及ぼす物質の影響下にある場合には、その作業員は本製品またはアクセサリで作業を行うことができません。</li> </ul>

### オペレータ

オペレータとは、説明書の内容を理解し、製品およびアクセサリに関する指導を受けて、製品およびアクセサリを安全に操作できる人員のことです。オペレータは起こり得る障害や危険な状況を自身で認識し、適切な措置の指示を出すことができます。

### 輸送・保管専門スタッフ

輸送・保管専門スタッフとは、訓練を受け、専門的経験と資格によって必要な技能を持ち、製品の輸送と保管に関連するすべての措置を安全に実施または指示し、危険な状況を自ら認識し、安全対策を講ずることができる人員のことです。

この技能には、ホイスト、フォークリフト、リフティングツールおよびリフティング機器の取り扱い経験、ならびに輸送、保管に関して地域で適用される法律、基準およびガイドラインについての知識が特に含まれます。

### 圧力機器・設備専門スタッフ

圧力機器・設備専門スタッフとは、訓練、専門的な経験および資格によって、加圧された液体およびシステムに関連する全ての行為を安全に実行し、それらの行為を指示し、発生しうる危険な状況を自ら認識し、危険回避の措置を実行するために必要な全ての技能を有する人員のことです。

こうした技能には、計測技術、制御技術および規制技術の取り扱い経験、ならびに加圧されたシステムに関して地域で適用される法律、規格およびガイドラインの知識が特に含まれます。

### サービス専門スタッフ

サービス専門スタッフとは、前記のような全ての専門スタッフの定義に記載された技能および資格を有する人員のことです。サービス専門スタッフは、本製品に関するすべての作業について訓練を受け、認可を受けたことを証明できなければなりません。

## 2.4 使用される記号の説明

以下の記号は本製品を取り扱う際、安全かつ最適な操作を保証するために、守るべき安全に関する重要な情報を示しています。

記号	説明/解説
	一般的な危険記号（危険、警告、注意）
	加圧システム
	設置・取扱説明書を読み、遵守してください
	一般的な義務マーク
	安全靴を着用
	保護手袋(耐切創性および耐液性)を着用
	聴覚保護具を使用
	側面保護付きの保護めがね(ゴーグル)を着用
	一般情報

## 2.5 安全に関する注意事項および警告マーク

この章では、人員の保護、ならびに本製品とアクセサリの安全で障害のない運転のための全ての重要な安全面に関する概略を説明します。

これに続く章では、本製品とアクセサリを使用目的に沿って使用した場合であっても発生する危険について記載されています。人身傷害および物的損害の危険を最小限に抑え、危険な状況を回避するためには、記載されている安全上の注意事項を守り、本説明書の他の章に記載の警告マークを遵守してください。

基本的な安全上に関する注意事項および専門スタッフに必要な資格は、各章冒頭の「警告マーク」の項に記載されています。

操作ステップ別の警告マークは、潜在的に危険な操作ステップまたは操作シーケンスの直前に表示されています。

安全上の注意事項および警告マークに従わなかった場合、人身傷害に加えて機能障害、運転障害、および物的損傷をまねく危険性があります。

### 2.5.1 基本的な安全上の注意事項

- 作業の開始前にはシステム全体の技術文書を参照し、全ての取扱説明書に従ってください。
- 作業の開始前には、現場でリスク評価を実施してください（Last Minute Risk Assessment）。
- 作業時には必ず適切な個人用保護具を使用してください。
- 設置作業、メンテナンス作業および修理作業の際は、必ず作業場所の周囲に安全領域を設けてください。
- 確実にスイッチをオフにして、システムまたはシステムセグメントを隔離するためには、既存の工場固有の安全保護手順（例：ロックアウト-タグアウト-手順）を使用してください。

### 2.5.2 安全な運転

次のような操作をすると、人員が死に至るか、または重傷を負う原因になるおそれがあります。

- 本製品とアクセサリの許容限度および稼働パラメータを超えた試運転および運転
- 本製品とアクセサリに対する許可のない介入および許可のない改造

本製品とアクセサリの安全な運転を保障するためには、以下の点を守ってください。

- 銘板と説明書に記載の限界値と稼働パラメータを守ってください。
- 許容された稼働パラメータがアクセサリの使用によって変更または制限されていないかどうか、確認してください。
- 設置条件および周囲条件を遵守してください。
- メンテナンス間隔を遵守してください。

### 2.5.3 加圧された液体の急速な流出

次のような状況は、人員が死亡するか、または重傷を負う原因になるおそれがあります：

- 急速または急激に流出する液体との接触
- 設備部品の破裂
- 加圧されたホースラインや配管の激しく揺れる動き

加圧システムを安全に取り扱うためには、以下の点を守ってください：

- 作業時には必ず以下の安全規則に従ってください：
  1. システムまたはシステムセグメントのスイッチをオフにします。
  2. システムまたはシステムセグメントのスイッチが再びオンにならないように固定してください。
  3. システムまたは全てのシステムセグメント内の圧力を周囲圧力まで下げてください。  
たとえば、逃し弁によって、制御された方法でゆっくりと圧力を解放してください
  4. システムまたはシステムセグメントが再び加圧されないように固定してください。
- システムまたはシステムセグメントの安全性、汚染および損傷の有無を点検してください。
- 加圧する前にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締め付け直してください。
- システムまたはシステムセグメントはゆっくりと加圧してください。
- 圧力ショックと高差圧は避けてください。
- 配管網内で発生する振動を振動ダンパーで補償します。

### 2.5.4 輸送と保管

不適切な輸送または保管は、人身傷害または物的損害の原因になるおそれがあります。

本製品およびアクセサリを安全に輸送し安全に保管するためには、以下の点を守ってください：

- 梱包資材を扱う作業をする際は必ず個人用保護具を使用してください。
- 梱包材、本製品およびアクセサリは慎重に取り扱ってください。
- 製品とアクセサリは、包装に記載された標識に従って輸送し、取り扱いってください。
- 欠陥のない適切な輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。
- 製品の総重量用に設計された輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。
- 許容された輸送パラメータおよび保管温度を守ってください。
- 本製品とアクセサリは必ず直射日光や熱源による影響のない場所に保管してください。

## 2.5.5 設置

本製品およびアクセサリの不適切な取り付けまたは電気の設置は、人身傷害および物的損害の原因になり、運転中に障害を引き起こすおそれがあります。

安全な取り付けおよび電気の設置を行うためには、以下の点を守ってください。

- 本製品、アクセサリ、使用される全ての部品および材料は、機械的張力がかからないように取り付けてください。
- 全てのプラグ接続が正しいことを確認してください。
- 適切にホースガイドを行って、つまづく危険がないようにしてください。
- 全てのホースは締めて固定し、叩き付けられるような動きが発生しないようにしてください。
- 供給管と排出管をしっかり接続してください。

## 2.5.6 メンテナンス

メンテナンス作業および修理作業を不適切な方法で実施すると、人員が重傷を負うか、または死亡するおそれがあります。

安全なメンテナンスおよび修理のためには、以下の点を守ってください：

- 作業開始の前には、加圧した本製品とアクセサリの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。
- 各用途について承認された材料のみを使用してください。
- 欠陥のない状態にある適切なツールのみを使用してください。
- 汚れや腐食のない洗浄済みの配管およびホースのみを使用してください。
- 外側のコーティング（例：標識、銘板、腐食防止層など）を損傷するおそれのある、研磨剤の入った侵食性の洗浄剤または溶剤は使用しないでください。
- 先のとがった物、または硬い物を清掃に使用しないでください。
- 清掃には、指定された素材および媒体のみを使用してください。
- 法的な衛生規則、地域の衛生規則、および社内で適用される衛生規則に従ってください。
- メンテナンス作業および修理作業の際には、整理整頓と清潔にご注意ください。開かれた製品またはアクセサリに汚れが入らないようにしてください。取り外したコンポーネントおよびアクセサリは、直ちに安全な場所で保管してください。
- メンテナンス作業および修理作業の終了後には、全ての使用ツール、洗浄剤、および不要になった部品を作業場所から除去してください。
- 製品とアクセサリは、清掃が済み、残留媒体がない状態になった場合にのみ廃棄してください。
- 全ての部材、コンポーネント、運転資材、補助資材および洗浄媒体は、その地域で適用される法的規制および規定に従って適切に廃棄してください。

## 2.5.7 有害物質の取扱い

ドレンに含まれている健康や環境に有害な物質は、皮膚、目および粘膜に触れた場合にはこれらを刺激し、損傷を与えるおそれがあります。また、有害物質で汚染されたドレンは、下水道や水域または地表に排出しないでください。

有害物質で汚染されたドレンを安全に取り扱うためには、以下の点を守ってください:

- ドレンを取り扱う際には、適切な保護具を使用してください。
- 漏れたりこぼれたりしたドレンは、その地域で適用される法的規制および規定に従って回収し、処理してください。

## 2.5.8 スペアパーツ、アクセサリまたは素材の使用


不適切なスペアパーツ、アクセサリまたは材料、ならびに補助資材および運転資材を使用すると、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。機能障害および運転障害、ならびに物的損害が発生するおそれがあります。

- 全ての作業時には、メーカーが指定した損傷していない純正部品、補助資材および運転資材のみを使用してください。
- 各用途について承認された材料、および欠陥のない状態にある適切な工具のみを使用してください。
- 汚れや腐食のない洗浄済みのパイプのみを使用してください。
- 電気の安全性に関して、その地域で適用される法的規制および規定（規格、指令など）に準拠した電気コンポーネントおよび材料のみを使用してください。

## 2.6 警告マーク

警告マークは、製品とアクセサリの取り扱いにおける危険を警告します。  
 人身傷害、物的損害、および運転中の障害を避けるために、警告マークに従ってください。

### 構造設計：

シグナルワード	危険の種類と原因
 記号	危険を無視した場合に起こり得る結果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険から逃れるための措置</li> </ul>

### シグナルワード：

<b>危険</b>	<b>差し迫った危険</b> 注意を怠った場合の帰結:死亡または重傷
<b>警告</b>	<b>差し迫った危険</b> 注意を怠った場合の帰結:死亡または重傷につながるおそれがあります
<b>注意</b>	<b>潜在的な危険</b> 注意を怠った場合の帰結:人身傷害のおそれがあります
<b>注記</b>	<b>考えられる物的損害</b> 注意を怠った場合の帰結:物的損害および運転上の不利益が生じるおそれがあります。人員や安全な運転を危険に晒さないこと。

## 3. 製品情報

### 3.1 製品の説明

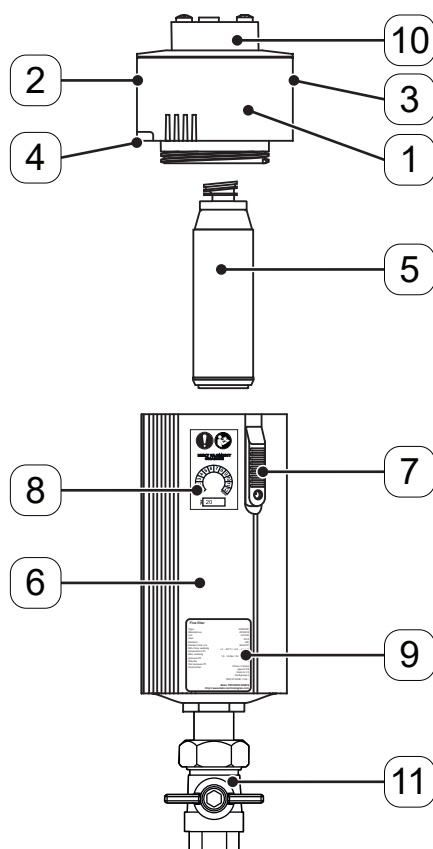
**CLEARPOINT® V**カートリッジ付き活性炭フィルタは、加圧システム内でガス混合物中のオイルミストと臭気物質を除去するために使用されます。オイルテスト表示器を用いると、比較的長期間（ $t > 100$ 時間）にわたってガス混合物の残留オイル分の測定が可能です。

圧縮空気は水分30%、温度+45 °Cを超えることはできません。これらの限界値を超えるとカートリッジの耐用年数が短くなります。

活性炭フィルタの耐用年数は以下の要因によって決まります：

- オイル投入量
- 相対湿度
- 圧力
- 温度

## 3.2 製品概要



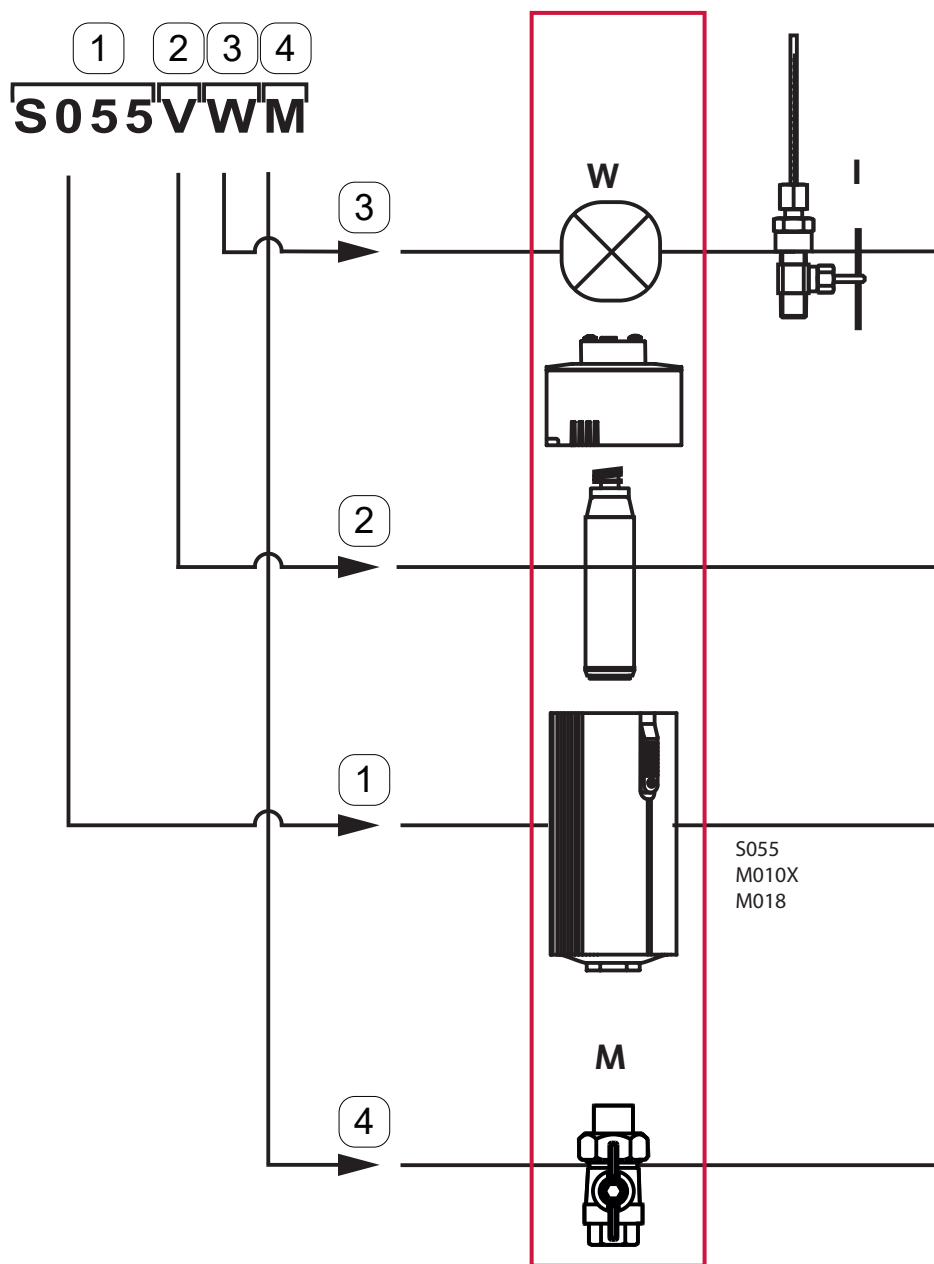
位置番号	説明/解説
[1]	ハウジングヘッド
[2]	ハウジングヘッドの入口
[3]	ハウジングヘッドの出口
[4]	方向マーク
[5]	活性炭カートリッジ
[6]	ハウジング
[7]	固定ねじ付きセーフティスライダ
[8]	カートリッジ交換用メンテナンスラベル
[9]	銘板
[10]	アダプタ
[11]	手動排出部

### 3.3 製品の識別

製品名称は銘板に表示されており、数字と文字で構成されています。各略称はフィルタのコンポーネントを意味しており、次のカテゴリに分かれます：

- [1] = サイズ:ハウジング
- [2] = カートリッジ
- [3] = 上組付け部品
- [4] = 下組付け部品

以下では「S055VWM」を例に製品名称についてご説明します：



上組付け部品		
位置番号	略称	説明/解説
[3]	W	表示器無し
	I	オイルテスト表示器

カートリッジ		
位置番号	ハウジングのサイズ	カートリッジ
[2]	S055	06 V
	M010X	10 V
	M018	18 V

ハウジング			
位置番号	機種	サイズ	体積 L (gal)
[1]	S	055	0.42 (0.11)
	M	010X	1.12 (0.3)
	M	018	2.97 (0.78)

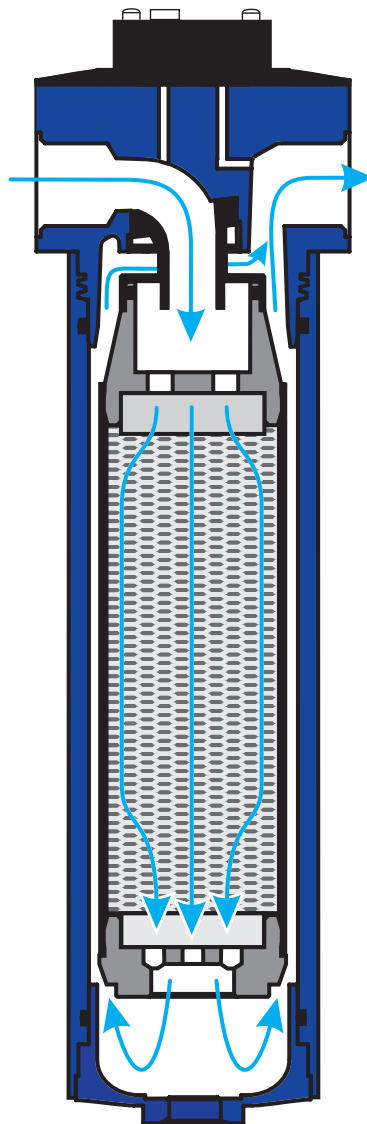
下組付け部品		
位置番号	略称	説明/解説
[4]	M	手動排出部

### 3.4 機能説明

**CLEARPOINT®V**の場合、カートリッジの流れる向きは上から下です：上から来る流体は粗目の粒子をろ過する小型ろ材を通して入ります。流体は上からカートリッジに入り、そこからカートリッジを通過して容器の中に流れます。吸着材料の中の活性炭はオイルミストと臭気を吸着します。

吸着材が保持できるオイルミストや臭気の量は限られるためカートリッジの耐用年数は、特に流体のオイル投入量に依存します。

流体に含まれる炭化水素は活性炭にすべて吸収されるわけではありません：炭化水素の吸収能力は活性炭の特性(素材、粒径、孔径など)だけでなく、特に吸収対象のガス留分の構造と極性に依存します。

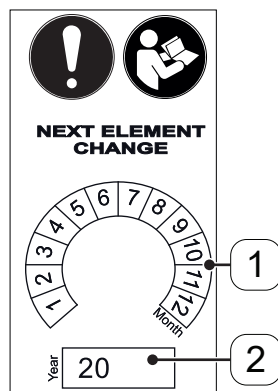


## 3.5 製品名称

### 3.5.1 カートリッジ交換用メンテナンスラベル

このメンテナンスラベルに次回のカートリッジ交換期日を記入してください。このためには対応する月 [1] にマークし、その年 [2] を、こすっても消えない防水性のペンで記入します。

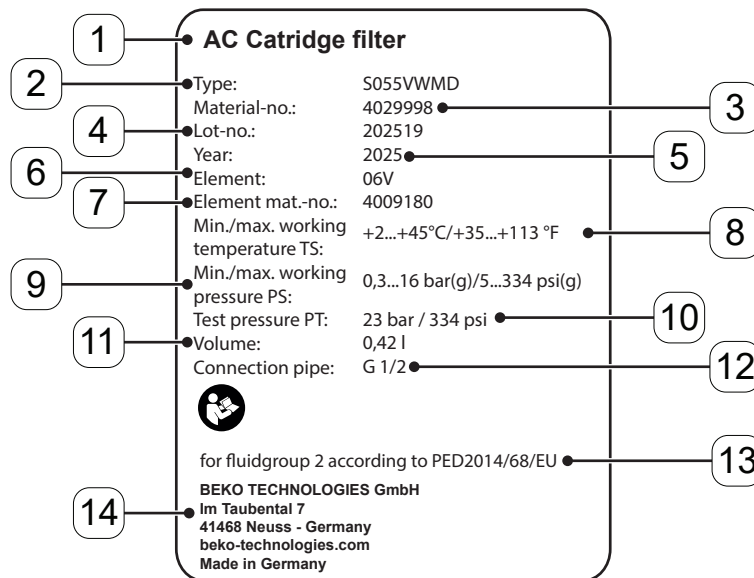
各カートリッジにメンテナンスラベルが付いています。



位置番号	説明/解説
[1]	次回カートリッジ交換月
[2]	次回カートリッジ交換年

### 3.5.2 銘板

識別パラメータおよび稼働パラメータは、ハウジング上にある銘板に記載されています。メーカーまたはサプライヤーにお問い合わせの際は、製品識別のためにこのデータをご用意ください。

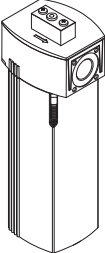



銘板の例

位置番号	説明/解説
[1]	製品名
[2]	製品名称
[3]	マテリアル番号
[4]	ロット番号
[5]	生産年
[6]	カートリッジ名称
[7]	カートリッジのマテリアル番号
[8]	最低 / 最高運転温度
[9]	最小 / 最大運転圧力
[10]	試験圧
[11]	ハウジング体積
[12]	入口および出口のねじ接続部
[13]	圧力機器指令2014/68/EUに対応した流体グループおよびカテゴリー
[14]	メーカーの住所

### 3.5.3 納入内容

以下の表はフィルタの納入内容を示しています。

☒	説明/解説
	カートリッジ付き活性炭フィルタ
	純正設置・取扱説明書

## 4. 技術データ

### 4.1 稼働パラメータ

CLEARPOINT® V	S055	M010X	M018
ねじ接続部	1/2"	3/4"	1 1/2"
体積流量、省エネ <sup>*1</sup>	50 m <sup>3</sup> /h 29.5 ft <sup>3</sup> /min	100 m <sup>3</sup> /h 59 ft <sup>3</sup> /min	200 m <sup>3</sup> /h 118 ft <sup>3</sup> /min
カテゴリー圧力機器指令 2014/68/EUに準拠	-	-	-
最小 / 最大運転圧力 PS	0.3 ... 16 bar (相対) 4.4 ... 232 psi (ゲージ)		
最低 / 最高運転温度 TS	+2 ... +45 °C 35 ... 113 °F		
流体の最大相対湿度	+20 °C (+68 °F)で30%		
推奨運転温度	25 °C 77 °F		
注入時の流体の品質 (ISO 8573-1に準拠)	[2:2:1]		
流体	圧力機器指令2014/68/EUに準拠した流体グループ2の圧縮ガス、 浸食性、腐食性成分を含有しないもの		
DIN EN 13445-3による負荷試験	$\Delta p = PS$ における全負荷変化:10000 $\Delta p < PS$ における部分負荷変化:10000 x (PS/ $\Delta p$ ) <sup>3</sup>		
カートリッジの耐用年数 <sup>*1, *2</sup>	2000 h	3500 h	3500 h
重量	1.5 kg 3.3 lbs	2.5 kg 5.5 lbs	6 kg 13.23 lbs
体積	0.42 L 0.11 gal	1.12 L 0.3 gal	2.97 L 0.78 gal

<sup>\*1</sup> 7 bar (相対) (102 psi (ゲージ)) における体積流量、+20 °C (+68 °F) および1 bar (絶対) (14.5 psi (絶対))、DIN 7183に準拠した参考値に基づく

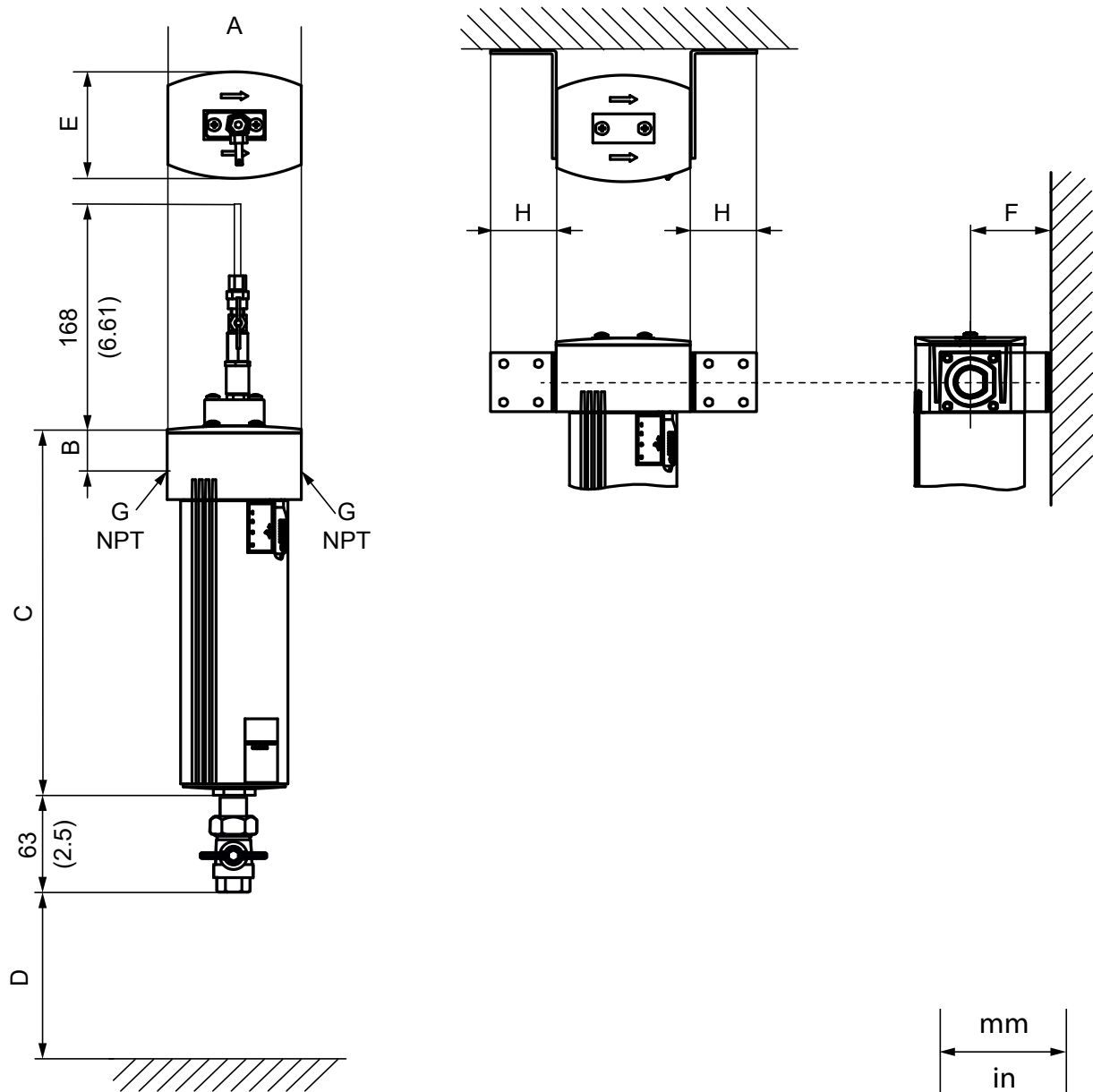
<sup>\*2</sup> 流体温度+25 °C (+77 °F)、相対湿度30%、最大投入オイル濃度約0.08 mg/m<sup>3</sup>の際の耐用年数

## 4.2 材質

フィルタ	
コンポーネント	材料
ハウジングヘッド、ハウジング	アルミニウム、コーティング
ハウジング用蓋	ポリアミド
ハウジングフロア	アルミニウム、コーティング
ボルトM5	鉄鋼、亜鉛めっき処理
スライダ	亜鉛
Oリング	標準:NBR   オイル無し:FKM
手動排出部	真鍮、ニッケルめっき処理
ウォールホルダー	鉄鋼、亜鉛めっき処理
ラベル	PVCおよびポリカーボネート

カートリッジ	
コンポーネント	材料
カートリッジヘッド	アルミニウム
円形ストレーナ	ステンレススチール
カートリッジ本体	アルミニウム、陽極酸化処理
カートリッジの底	アルミニウム、陽極酸化処理
Oリング	エラストマー
フィルタフォーム材	PURフォーム
BGRろ材ヘッド	ポリアミドとファイバークラス
活性炭容器	活性炭

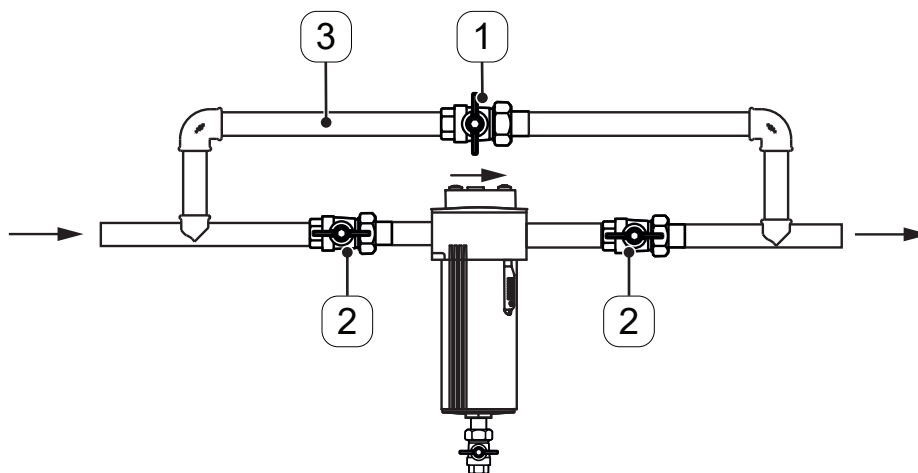
### 4.3 寸法



フィルタ (サイズ)	A	B	C	D	E	F	H	カートリッジ
	mm(in)							
S055	75 (2.95)	28 (1.10)	267 (10.51)	150 (5.91)	61 (2.40)	64.5 (2.54)	39.5 (1.56)	06 V
M010X	100 (3.94)	33 (1.29)	352 (13.86)	150 (5.91)	81 (3.18)	63 (2.48)	45 (1.77)	10 V
M018	146 (5.75)	47 (1.85)	416 (16.39)	200 (7.87)	119 (4.68)	78.5 (3.09)	60 (2.36)	18 V

## 4.4 設置条件

- 上流流体処理の設置(ろ過および乾燥)。
- 設置場所が、産業用に利用されている建物内にある。
- 考えられる振動、脈動および震動の発生源（例：機械など）から十分離れた場所に製品を設置する。
- 設置場所には、製品における全ての作業（例：取り付け、メンテナンス、アクセサリの後付けなど）を行うために十分な空きスペースがある。
- 直射日光、霜、熱源、および/または考えられる火災の危険による影響範囲の外側にある、清潔で乾燥した場所に製品を設置する。
- 製品を交通路の外側に設置し、製品周囲に衝撃保護を取り付ける。
- 本製品の入口と出口でメンテナンス作業を行うために、それぞれに手動式のシャットオフバルブを取り付ける。
- 保守作業中やメンテナンス作業中も流体を継続的に供給できるよう、メーカーでは、流体処理装置とシャットオフバルブ [1, 2] を備えたバイパスライン [3]、および手動排出部からの取り外しが可能なドレン排出管の設置を推奨しています。
- 配管が本製品で増える重量を支持できることが必要です。  
場合によっては追加固定部品を取り付けてください。





## 5. 輸送と保管

### 作業員

輸送・保管専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」 8ページの章を参照)

### 5.1 警告マーク

注意	不適切な輸送または保管
	<p>不適切な輸送や保管は、人身傷害の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 梱包資材を扱う作業をする際は必ず個人用保護具を使用してください。</li> <li>• 欠陥のない適切な輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。</li> <li>• 製品の総重量用に設計された輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。</li> <li>• 許容された輸送パラメータおよび保管温度を守ってください。</li> </ul>
注記	梱包材の取扱い
	<p>梱包材を不適切に廃棄すると、環境に害を与える可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 梱包資材は、使用国で適用される法的規制および規定に従って廃棄してください。</li> </ul>

### 5.2 輸送

- 本製品とアクセサリは、包装に記載された標識に従って輸送し、取り扱ってください。
- 全ての部品を適切な素材で衝撃に耐えられるよう梱包してください。
- 梱包材、本製品およびアクセサリは慎重に取り扱ってください。

### 5.3 保管



- 本製品とアクセサリは必ず直射日光や熱源による影響のない場所に保管してください。
- 本製品およびアクセサリは、必ず純正梱包材を用いて保管してください。

## 6. 取り付け





### 作業員

圧力機器・設備専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」 8ページの章を参照)

### 6.1 警告マーク

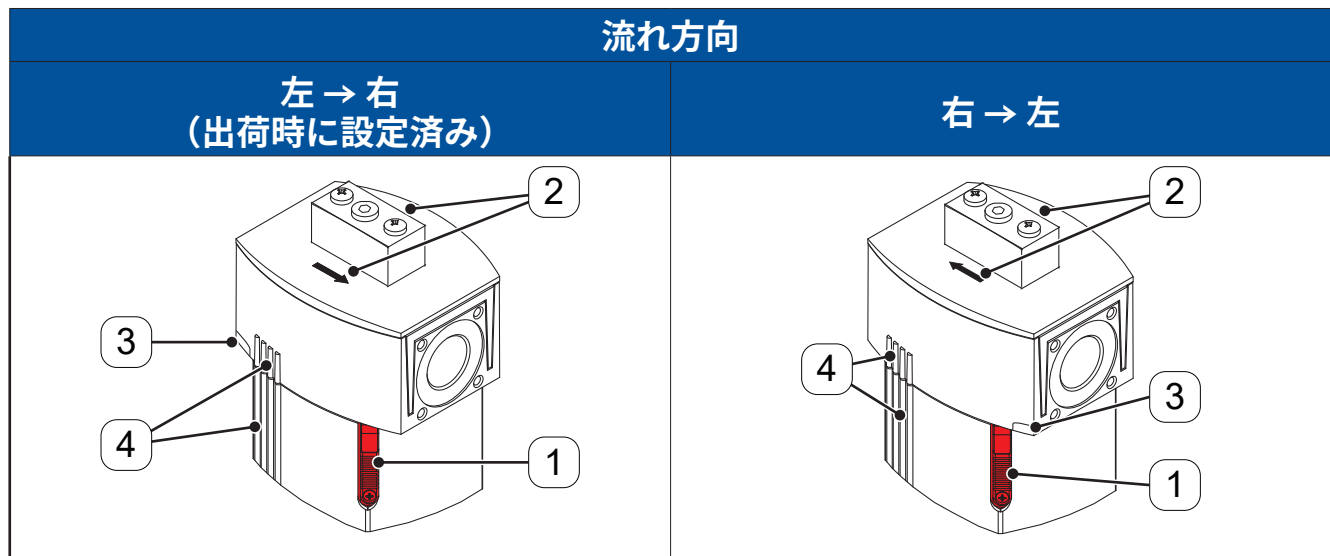
<p><b>危険</b></p>	<p><b>加圧された液体の急速な流出</b></p>
	<p>急速な、または突然流出した液体や、破裂した設備部品に接触すると、死亡事故、または重傷につながるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。</li> <li>全ての配管およびホースケールを機械的張力のないように取り付けてください。</li> </ul>
<p><b>注記</b></p>	<p><b>機械的損傷</b></p>
	<p>3つ以上の製品を組み合わせると、ウォールブラケットに過剰な負荷がかかり、ウォールブラケットおよび取り付けコンポーネントが変形するおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォールブラケット1つで固定できるフィルタは、最大3つまでです。</li> </ul>

## 6.2 準備作業

前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>サイズ PH1のプラスドライバ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用するアクセサリの追加の設置・取扱説明書</li> <li>シーラント 例： PTFEテープ(EN 837-2)</li> <li>漏れ検知スプレー</li> </ul>	   

準備作業	
1.	プラグを以下のねじ込み部から除去してください： <ul style="list-style-type: none"> <li>ハウジングヘッドの出入口</li> <li>ハウジングフロアにあるドレン排出部</li> </ul>
2.	配管システムまたは関連する配管セグメントを無圧にしてください。
3.	配管に汚れや腐食がないようにしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ パイプのねじ山に損傷がないか点検してください。</li> <li>→ 故障した配管は直ちに交換してください。</li> </ul>
4.	ドレン排出部は、流体またはドレンが製品の周辺に漏れ出ないように構成してください。排出するドレンは、法定に応じた浄化施設へ投入してください。

## 6.3 フィルタの位置合わせ

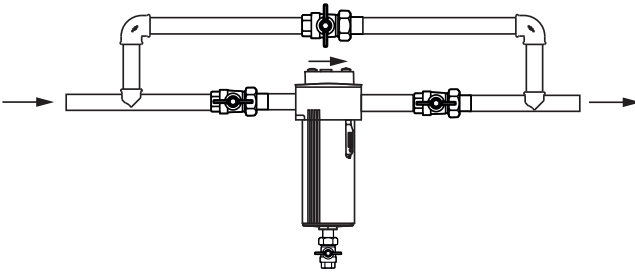


流れの方向を配管の流れ方向に合わせ、配管内でフィルタの位置を合わせてください:

ハウジングヘッドとハウジングにはデュアルトラピースねじがあります。

- ハウジングをハウジングヘッドに止まるまでねじ込みます。
- ハウジングとハウジングヘッドのマーク [4] が揃うまでハウジングを回します。ハウジングヘッドを180°回すことにより製品の流れる方向を配管の流れ方向に合わせられます。流れる方向は矢印 [2] と凹みマーク [3] でハウジングヘッドに示されます。
- セーフティースライダ [1] を、作業員側(前面)からアクセスできるように位置合わせします。

## 6.4 取り付け作業

図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. PTFEテープ(EN 837-2)などのシーラントをパイプ両端に巻き付けます。</li> <li>2. 接続がきつく締まり気密になるまで、パイプのねじ山をハウジングヘッドの入口にねじ込みます。</li> <li>3. パイプのねじ山を、確実に接続され気密になるまでハウジングヘッドの出口にねじ込みます。</li> </ol>

## 6.5 アクセサリの取り付け

アクセサリの取り付けについては、該当する文書に記載されています(「1.3 関連ドキュメント」5ページの章を参照)。

## 6.6 仕上げ作業


仕上げ作業	
1.	ハウジングが正しくハウジングヘッド内にねじ止めされている。
2.	セーフティースライダがエンドストップまで押し上げられている。
3.	固定ねじが締め付けられている。
4.	<p>すべての取り付け作業が完了した後で、リークテストを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 漏れがある場合は是正し、対応するねじ山を再シールする。</li> <li>→ 笛を吹くような音が聞こえる場合は、セーフティースライダが正しく閉じられていない。スライダをエンドストップまで押し上げ、固定ねじを締め付ける。</li> </ul>

## 7. 試運転

### 作業員

圧力機器・設備専門スタッフおよび電気技術専門スタッフ  
 (「2.3 対象グループと人員」 8ページの章を参照)

### 7.1 警告マーク

<b>危険</b>	<b>加圧された液体の急速な流出</b>
	急速な、または突然流出した液体や、破裂した設備部品に接触すると、死亡事故、または重傷につながるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>加圧する前にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締め付け直してください。</li> <li>システムに圧力がかかり、ゆっくりと加圧されます。</li> </ul>

### 7.2 試運転作業

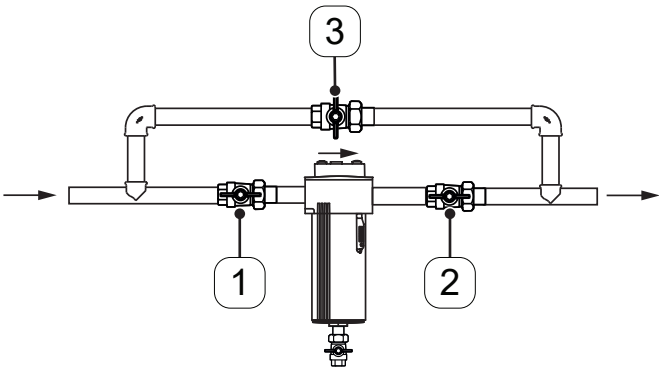
#### 前提条件

ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>ツールは必要ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料は必要ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人用保護具は必要ありません。</li> </ul>

#### 準備作業

1. 本製品の取り付けを完了します。
--------------------

#### 試運転作業


図		説明/解説
機械的開	自動排出	
		<ol style="list-style-type: none"> <li>入口側のシャットオフバルブ [1] をゆっくりと開けます。</li> <li>出口側のシャットオフバルブ [2] をゆっくりと開けます。</li> <li>バイパスラインがある場合は、そのシャットオフバルブ [3] を閉めます。</li> </ol>

## 8. メンテナンス

### 作業員

サービス専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」 8ページの章を参照)

### 8.1 警告マーク

<b>危険</b>	<b>加圧された液体の急速な流出</b>
	<p>急速な、または突然流出した液体や、破裂した設備部品に接触すると、死亡事故、または重傷につながるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。</li> </ul>



### 8.2 保守スケジュール

保守作業	間隔
清掃作業	汚染状況に応じて定期的に
目視検査	毎週
カートリッジの交換	「4.1 稼働パラメータ」 23ページの章を参照
リークテスト	製品の取り付け作業、メンテナンス作業および保守作業の終了時には、必ず実施
ハウジングの内側に損傷や腐食がないかを確認	カートリッジ交換の都度


## 8.3 保守作業

### 8.3.1 清掃

#### 8.3.1.1 警告マーク


<b>注意</b>	<b>不適切な洗浄剤の使用による人身傷害</b>
	<p>不適切な洗浄剤の使用により、軽傷や健康被害を負う危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人用保護具を使用してください。</li> <li>メーカーの指定に適合した洗浄剤を使用してください。</li> </ul>
<b>注記</b>	<b>現地の衛生規則に注意</b>
	<p>記載されている清掃に関する注意事項に加えて、必要に応じて、その地域で適用される衛生規則または会社独自の衛生規則を遵守する必要があります。</p>

#### 8.3.1.2 清掃作業

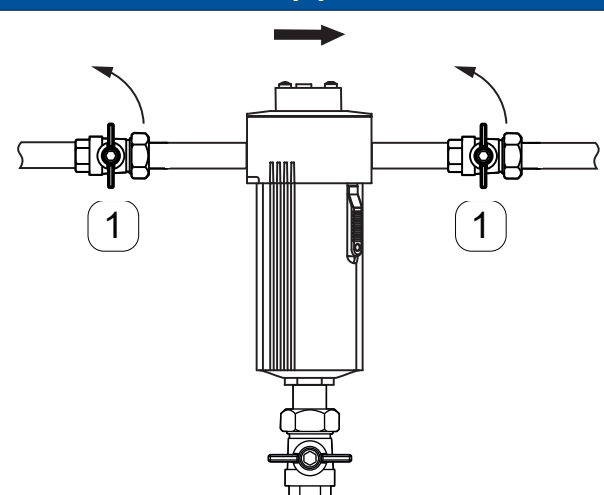
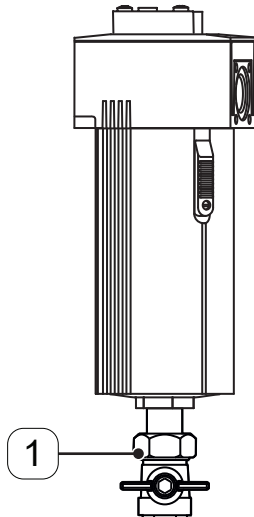
前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>ツールは必要ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中性洗剤</li> <li>綿布または使い捨ての布</li> </ul>	

清掃作業	
1.	中性洗剤を未使用の綿布、または使い捨ての布に湿る程度（濡らさない程度）にスプレーしてください。
2.	コンポーネントの表面全体にこすりつけます。
3.	最後に、清潔な布でコンポーネントを乾かすか、または自然乾燥させます。

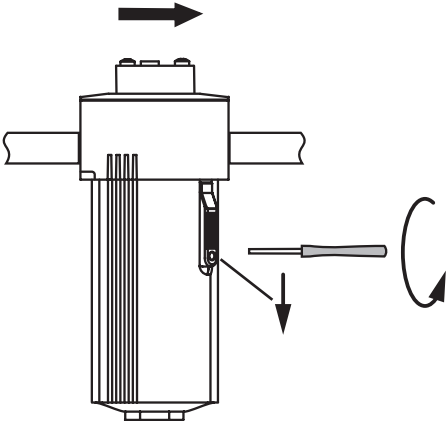
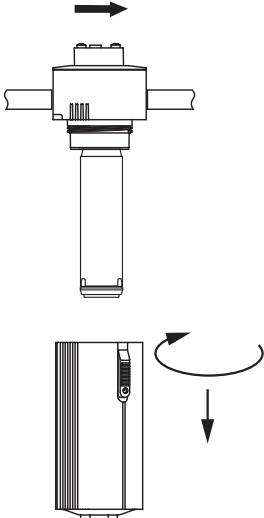
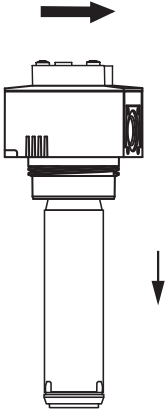
## 8.4 カートリッジの交換

前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>• プラスドライバー サイズPH1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新規カートリッジ</li> </ul>	

準備作業	
1.	バイパスラインがある場合は、そのシャットオフバルブを開けます。

カートリッジの交換	
図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フィルタまたは対応するプラント区間前後のシャットオフバルブ [1] を閉じてください。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. フィルタを減圧します。 → 手動排出部を慎重に開けます。</li> <li>3. ユニオンナット [1] を緩めます。</li> <li>4. 手動排出部を下方に引きます。</li> </ol>

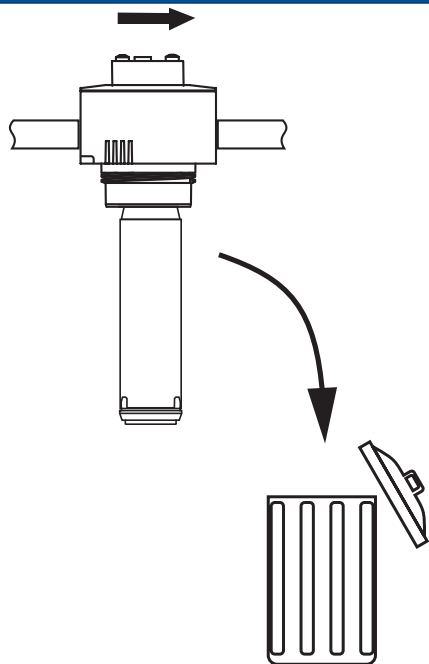
## カートリッジの交換

図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"><li>5. セーフティスライダの固定ねじを緩めます。</li><li>6. セーフティスライダを押し下げます。</li></ol>
	<ol style="list-style-type: none"><li>7. ハウジングのねじを外します。</li><li>8. ハウジングを下方に取り外します。</li></ol>
	<ol style="list-style-type: none"><li>9. 使用済みカートリッジをハウジングヘッドから引き下げます。</li></ol>

## カートリッジの交換

図

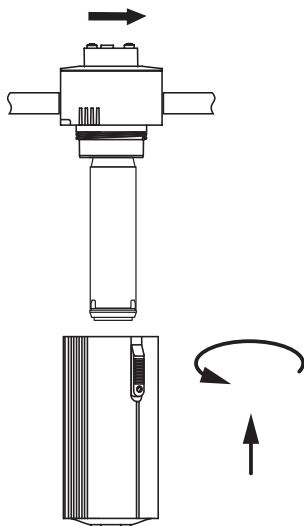
説明/解説



10. カートリッジは地域の規則に従って適切に廃棄してください。  
→ (「11. 廃棄処分」 43ページの章を参照)。

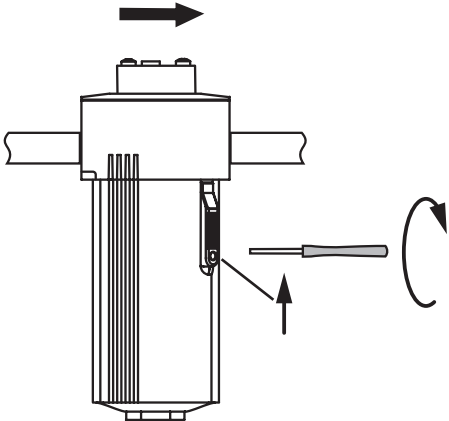
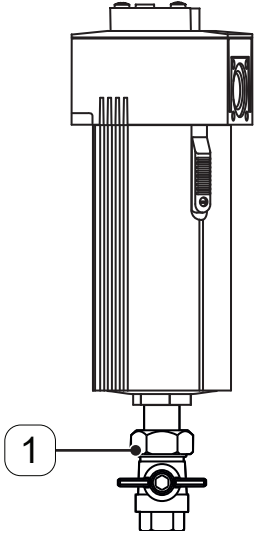
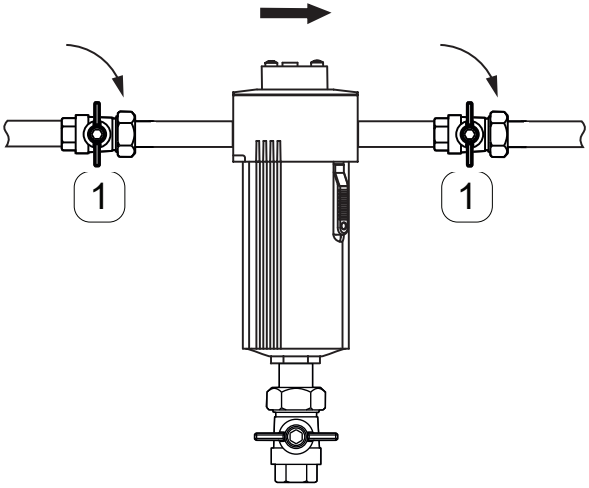


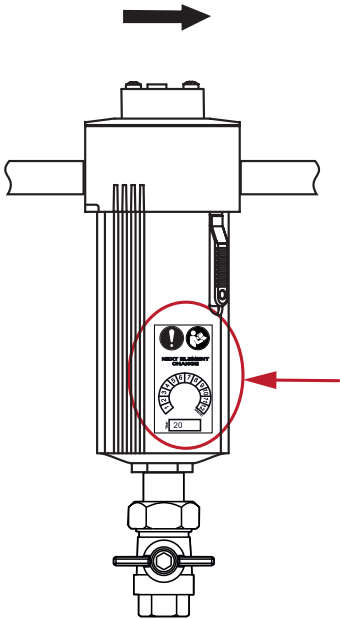
11. 新規カートリッジをハウジングヘッドに取り付けます。  
→ 製品の流れる方向にご注意ください。



12. ハウジングをハウジングヘッドにねじ込みます。  
→ セーフティースライダが前向きになることにご注意ください。

## カートリッジの交換

図	説明/解説
	<p>13. セーフティスライダを押し上げます。</p> <p>14. セーフティスライダの固定ねじをしっかりと締めます。</p>
	<p>15. 手動排出部を接続します。</p> <p>16. ユニオンナット [1] をしっかりと締め付けてください (最大10 Nm (7.4 ft-lb))。</p>
	<p>17. 手動排出部を閉じます。</p> <p>18. フィルタまたは対応するプラント区間前後のシャットオフバルブ [1] をゆっくりと開いてください。</p>

カートリッジの交換	
図	説明/解説
	<p>19. 新しいメンテナラベルをハウジングに取り付けます。</p> <p>20. 次のメンテナンス日を記入します。</p>

仕上げ作業	
1.	バイパスラインがある場合は、そのシャットオフバルブを閉めます。
2.	加圧中にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締め付け直してください。
3.	システムに圧力がかかり、ゆっくりと加圧されます。

### 8.4.1 目視検査


本製品の目視検査では、すべてのコンポーネントの機械的損傷と腐食を点検してください。損傷したコンポーネントは直ちに交換してください。

## 9. 運転停止措置

### 作業員


サービス専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」 8ページの章を参照)

### 9.1 警告マーク

<b>危険</b>	<b>加圧された液体の急速な流出</b>
	<p>急速な、または突然流出した液体や、破裂した設備部品に接触すると、死亡事故、または重傷につながるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。</li> </ul>

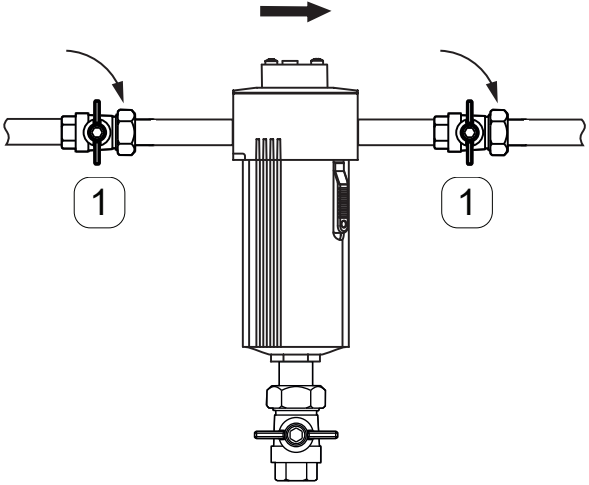
### 9.2 運転停止措置の手順

#### 前提条件

ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>工具は必要ありません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料は必要ありません</li> </ul>	

#### 準備作業

1.	バイパスラインがある場合は、そのシャットオフバルブを開けます。
----	---------------------------------


図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> <li>フィルタまたは対応するプラント区間前後のシャットオフバルブ [1] を閉じてください。</li> <li>フィルタを減圧します。 → 手動排出部を慎重に開けます。</li> </ol>

## 10. 取り外し

### 作業員


サービス専門スタッフ(「2.3 対象グループと人員」 8ページの章を参照)

### 10.1 警告マーク

<b>危険</b>	<b>加圧された液体の急速な流出</b>
	<p>急速な、または突然流出した液体や、破裂した設備部品に接触すると、死亡事故、または重傷につながるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。</li> </ul>

### 10.2 取り外し作業

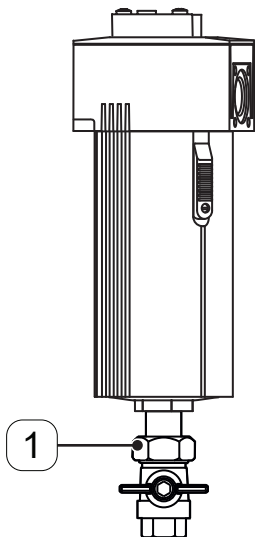
#### 前提条件

ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスドライバー サイズPH1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料は必要ありません</li> </ul>	

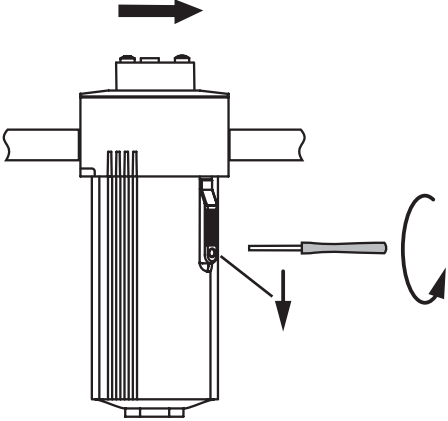
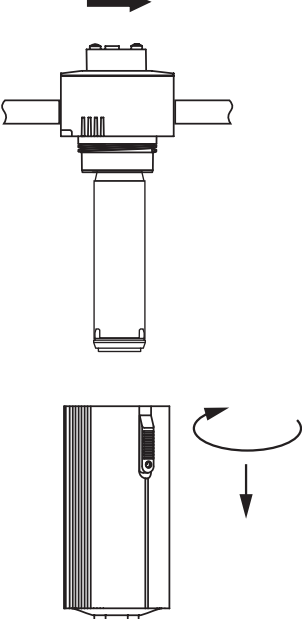
#### 準備作業

1. 運転停止措置が完了し、製品は無圧になっています。
-----------------------------

#### 取り外し

図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> <li>ユニオンナット [1] を緩めます。</li> <li>手動排出部を下方に引きます。</li> </ol>


## 取り外し

図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. セーフティスライダの固定ねじを緩めます。</li> <li>4. セーフティスライダを押し下げます。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. ハウジングのねじを外します。</li> <li>6. ハウジングを下方に取り外します。</li> <li>7. カートリッジを外します。</li> <li>8. ハウジングヘッドを配管から取り外し、配管両端を専門的に正しく封止してください。</li> <li>9. コンポーネントを専門的に見て正しく廃棄してください。</li> </ol>

## 11. 廃棄処分

製品とアクセサリは、耐用年数が経過した時点で、例えば専門業者に依頼するなどして適切に廃棄する必要があります。例えば、ガラス、プラスチックや一部の化学製品は、大部分が修復可能、リサイクル可能であり再使用することができるものです。

### 11.1 警告マーク

注記	不適切な廃棄処分
	<p>部品、コンポーネント、運転資材、補助資材および洗浄剤を不適切な仕方で廃棄処分すると、環境汚染の原因になるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての部材、コンポーネント、運転資材、補助資材および洗浄媒体は、その地域で適用される法的規制および規定に従って適切に廃棄してください。</li> <li>廃棄に関して疑問がある場合は、その地域の専門の廃棄処理業者にご相談ください。</li> </ul>

### 11.2 運転資材および補助資材の廃棄処分

運転資材/補助資材	EU廃棄物コード
油またはその他の危険物質により汚染された吸着材、フィルタ材、拭き取り布および保護服	15 02 02
15 02 02に該当するものを除く、吸収材、フィルタ材、拭き取り布および保護服	15 02 03
梱包材 - 紙および段ボール	15 01 01
梱包材 - プラスチック	15 01 02
廃油 - 無機	13 02 05
廃油 - 合成	13 02 06

### 11.3 コンポーネントの廃棄処分


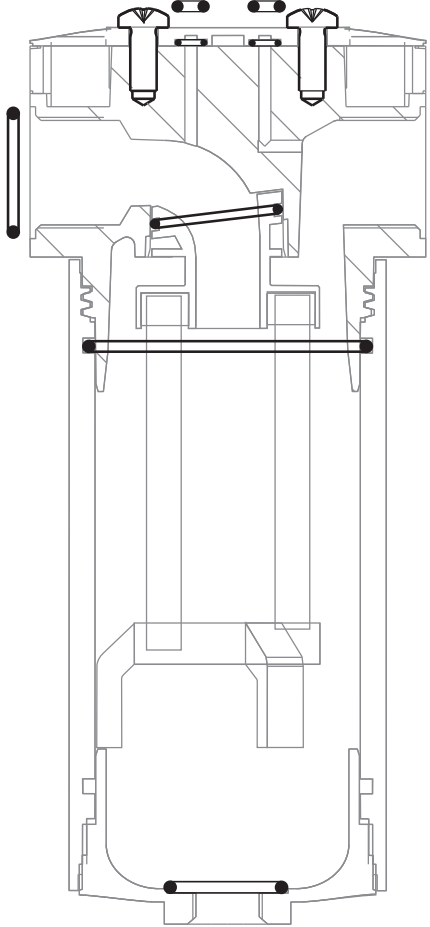
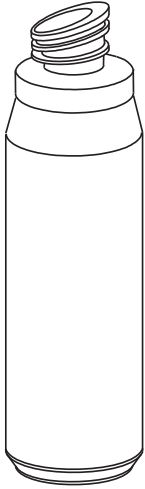
前提条件	
1.	本製品とアクセサリは運転停止され、取り外されている。
2.	本製品とアクセサリは清掃が済み、残留媒体がない状態になっている。

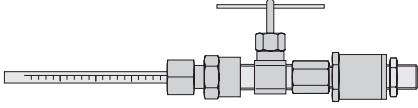
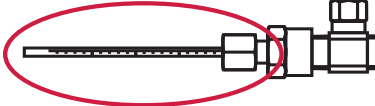
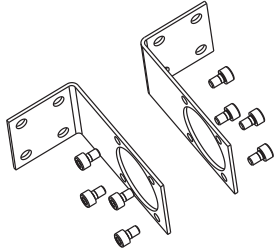
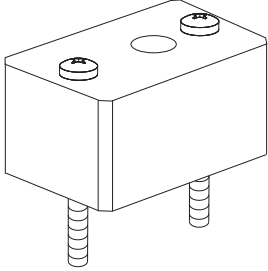
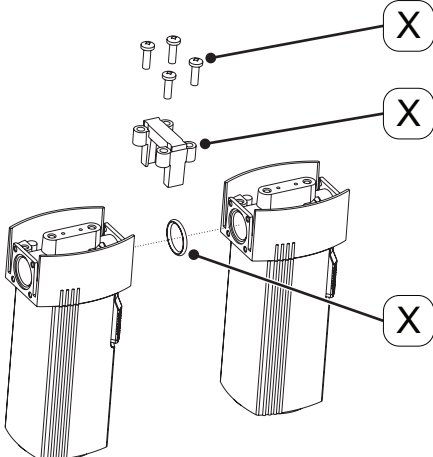
コンポーネント	EU廃棄物コード
プラスチック	20 01 39
金属	20 01 40


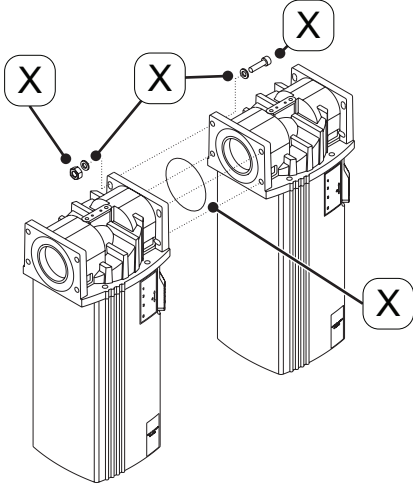
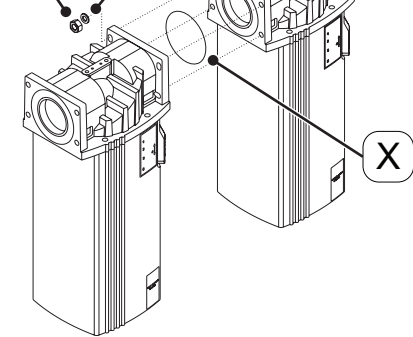
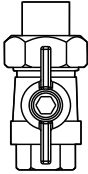
## 12. 交換部品およびアクセサリ

### 12.1 交換部品

	説明/解説	マテリアル番号
	Oリングセット S055	4026562
	Oリングセット M010X	4026563
	Oリングセット M018	4026564
	カートリッジ	4009180
		4009181
		4009182

## 12.2 アクセサリ

図	説明/解説	マテリアル番号
	アダプタ付きオイルテスト表示器	4008728
	オイルテスト表示器スペアパイプ	4025989
	ウォールブラケット S055	4003328
	ウォールブラケット M010X	4003329
	ウォールブラケット M018	4003330
	アダプタ オイルテスト表示器 S055	4008713
	アダプタ オイルテスト表示器 M010X	4008725
	アダプタ オイルテスト表示器 M018	4008726
	接続セット [X]、S055用	4003332

	説明/解説	マテリアル 番号
	接続セット [X]、M010X用	4003333
	接続セット [X]、M018用	4003334
	手動排出部	2000039

## 13. 解決策

エラー状況	考えられる原因	解決策
ろ過性能が不十分	負荷が異常に高い、衝撃的負荷	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操業方法を変更する</li> <li>• 圧力サージを防止する</li> <li>• 特に始動プロセスにおいて規定された稼働パラメータを守る</li> </ul>
	ドレン排出の機能障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドレン排出を点検し、必要に応じて交換する</li> </ul>
	不正な寸法設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存のフィルタを適切なサイズのフィルタと交換する</li> </ul>
	カートリッジの誤取り付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ラインおよびカートリッジの流れ方向を守る</li> </ul>
	Oリングを取り付けの際損傷した	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カートリッジおよびOリングを交換する</li> </ul>
差圧増大	不正な寸法設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存のフィルタを適切なサイズのフィルタと交換する</li> </ul>
	汚れの増大	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上流フィルタのメンテナンス間隔を短縮する</li> <li>• 段式ろ過が必要かどうかを確認する</li> </ul>
	カートリッジ破損	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操業方法の変更または段式ろ過が必要かどうかを確認する</li> </ul>
リーク	シールの劣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• シールを交換する</li> </ul>
	機械的損傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フィルタを修理のために返送するか、または新品と交換する</li> </ul>

## 14. 添付書類

### 14.1 製造者宣言書

BEKO TECHNOLOGIES GMBH  
Im Taubental 7  
41468 Neuss

GERMANY

Tel: +49 2131 988-0  
ww.beko-technologies.com



### Herstellererklärung

Wir erklären hiermit, dass die nachfolgend bezeichneten Produkte, in den von uns gelieferten Ausführungen gemäß Druckgeräterichtlinie 2014/68/EU Artikel 4 Absatz 3 in Übereinstimmung mit der geltenden guten Ingenieurpraxis ausgelegt und hergestellt werden.

Produktbezeichnung:	Behälter für Gewindefilter
Typbezeichnung:	CLEARPOINT®
Baugröße:	S040, S045, S050, S055, S075, S100, M010, M012, M015, M018
Max. Betriebsdruck:	16 bar (ü)

Beschreibung der Druckgeräte: Druckgeräte für Fluide der Gruppe 2

Druckgeräte nach Artikel 4 Absatz 3 der Druckgeräterichtlinie 2014/68/EU dürfen nicht die in Artikel 19 genannte CE-Kennzeichnung tragen.

Die Behälter wurden einer hydraulischen Druckprüfung mit 23 bar (ü), und einer Dichtheitsprüfung mit dem Medium Druckluft, bei 7,0 bar (ü) unterzogen. Bei den durchgeführten Prüfungen zeigten sich keine Mängel.

Neuss, 26.02.2020

BEKO TECHNOLOGIES GMBH

i.V. Christian Riedel  
Leiter Qualitätsmanagement International

BEKO TECHNOLOGIES GMBH  
Im Taubental 7  
41468 Neuss

ドイツ

電話: +49 2131 988-0  
www.beko-technologies.com



## 製造者宣言書

本仕様による以下の製品が適用される優良エンジニアリング基準に従って設計および製造され圧力機器指令 2014/68/EU 第 4 条第 3 項に準拠することを宣言いたします。

製品名称 :	ねじ式フィルタ用容器
型式名称 :	CLEARPOINT®
サイズ :	S040、S045、S050、S055、S075、S100、M010、 M012、M015、M018
最大運転圧 :	16 bar (相対)

圧力機器の説明:	グループ 2 の流体用圧力機器
----------	-----------------

圧力機器指令 2014/68/EU 第 4 条第 3 項にいう圧力機器に第 19 条に規定される CE マークを付けることは認められていません。

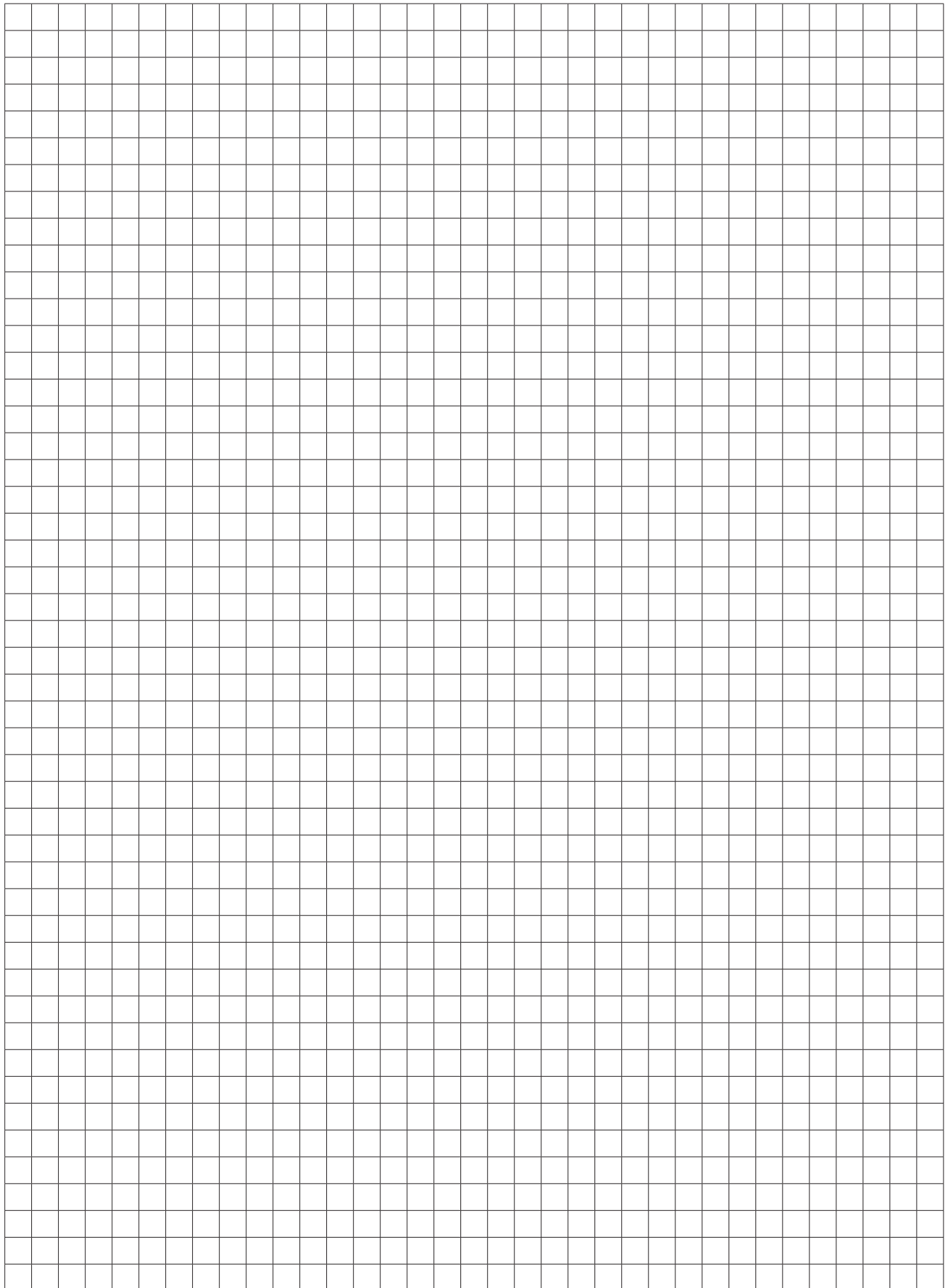
本容器は 23 bar (相対) による油圧圧力試験と 7.0 bar (相対) の媒体圧縮空気による漏れ試験に合格しています。実施した試験において不備は発生しませんでした。

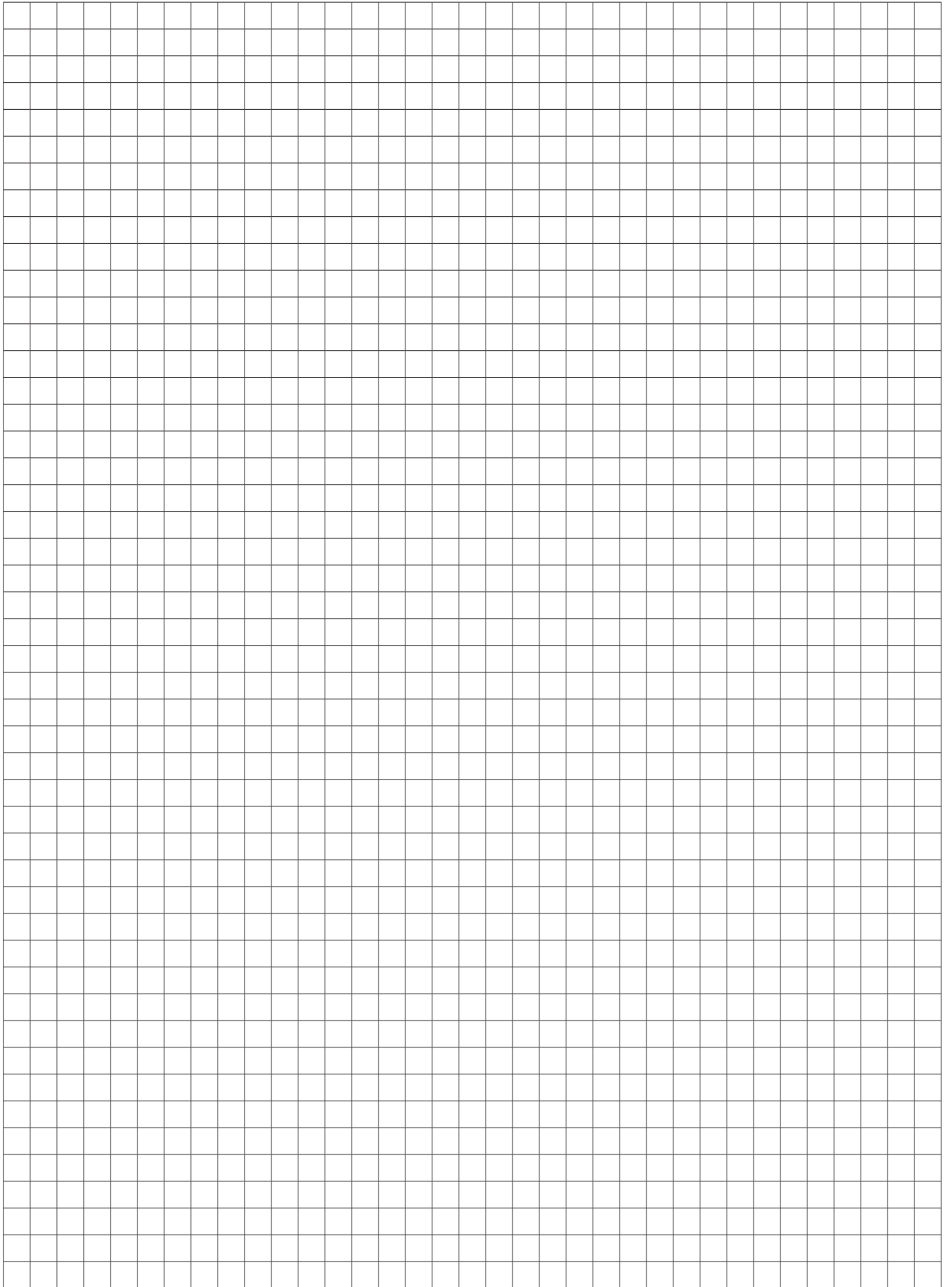
ノイス、2020/02/26

BEKO TECHNOLOGIES GMBH

i.V.クリスティアン・リーデル  
品質管理部長国際部門

# 15. ヌモ





**BEKO TECHNOLOGIES GmbH**

Im Taubental 7  
D - 41468 Neuss  
Tel. +49 2131 988 0  
Fax +49 2131 988 900  
info@beko-technologies.com  
service-eu@beko-technologies.com

**DE****BEKO TECHNOLOGIES LTD.**

Unit 11-12 Moons Park  
Burnt Meadow Road  
North Moons Moat  
Redditch, Worcs, B98 9PA  
Tel. +44 1527 575 778  
info@beko-technologies.co.uk

**GB****BEKO TECHNOLOGIES S.à.r.l.**

Zone Industrielle  
1 Rue des Frères Rémy  
F - 57200 Sarreguemines  
Tél. +33 387 283 800  
info@beko-technologies.fr  
service@beko-technologies.fr

**FR****BEKO TECHNOLOGIES B.V.**

Veenen 12  
NL - 4703 RB Roosendaal  
Tel. +31 165 320 300  
benelux@beko-technologies.com  
service-bnl@beko-technologies.com

**NL****BEKO TECHNOLOGIES  
(Shanghai) Co. Ltd.**

Rm.715 Building C, VANTONE Center  
No.333 Suhong Rd.Minhang District  
201106 Shanghai  
Tel. +86 (21) 50815885  
info.cn@beko-technologies.cn  
service1@beko.cn

**CN****BEKO TECHNOLOGIES s.r.o.**

Na Pankráci 26/322  
CZ - 140 00 Praha 4  
Tel. +420 24 14 14 717 /  
+420 24 14 09 333  
info@beko-technologies.cz

**CZ****BEKO Tecnológica España S.L.**

Torruella i Urpina 37-42, nave 6  
E - 08758 Cervelló  
Tel. +34 93 632 76 68  
Mobil +34 610 780 639  
info.es@beko-technologies.es

**ES****BEKO TECHNOLOGIES LIMITED**

Room 2608B, Skyline Tower,  
No. 39 Wang Kwong Road  
Kwloon Bay Kwloon, Hong Kong  
Tel. +852 2321 0192  
Raymond.Low@beko-technologies.com

**HK****BEKO TECHNOLOGIES INDIA Pvt. Ltd.**

Plot No.43/1 CIEEP Gandhi Nagar  
Balanagar Hyderabad  
IN - 500 037  
Tel. +91 40 23080275 /  
+91 40 23081107  
Madhusudan.Masur@bekoindia.com  
service@bekoindia.com

**IN****BEKO TECHNOLOGIES S.r.l**

Via Peano 86/88  
I - 10040 Leinì (TO)  
Tel. +39 011 4500 576  
Fax +39 0114 500 578  
info.it@beko-technologies.com  
service.it@beko-technologies.com

**IT****BEKO TECHNOLOGIES K.K**

KEIHIN THINK Building 8 Floor  
1-1 Minamiwatarida-machi  
Kawasaki-ku, Kawasaki-shi  
JP - 210-0855  
Tel. +81 44 328 76 01  
info@beko-technologies.jp

**JP****BEKO TECHNOLOGIES Sp. z o.o.**

ul. Pańska 73  
PL - 00-834 Warszawa  
Tel. +48 22 314 75 40  
info.pl@beko-technologies.pl

**PL****BEKO TECHNOLOGIES S. de R.L. de C.**

BEKO Technologies, S de R.L. de C.V.  
Blvd. Vito Alessio Robles 4602 Bodega 10  
Zona Industrial  
Saltillo, Coahuila, 25107  
Mexico  
Tel. +52(844) 218-1979  
informacion@beko-technologies.com

**MX****BEKO TECHNOLOGIES, CORP.**

900 Great Southwest Pkwy SW  
Atlanta, GA 30336  
USA  
Tel. +1 404 924-6900  
beko@bekousa.com

**US**